



WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2620地区
御殿場ロータリークラブ週報

第1758回
例会プログラム
2002.9.5 No.10

慈愛の種を播きましょう

例会場 / 名鉄菜館

開会点鐘 / 12:30

ロータリーソング / 我らの生業

内容 / 新世代のための月間に因んで

会員慶事

・誕生日

9月 6日 豊山 徹也君

9月 9日 長田 吉弘君

・結婚記念日

9月 5日 望月 茂・奈保美様ご夫妻

9月 9日 長田 吉弘・まゆみ様ご夫妻

・夫人誕生日

9月 9日 菅沼 久君 ご夫人 久 代様

9月11日 斎藤 衛君 ご夫人 真夕美様



会長挨拶

会長 内海 宣彦

先週はガバナー公式訪問を皆様のご協力のお陰で無事済ませて頂き、心から感謝を申し上げます。有り難うございました。

その際、ガバナーから2004年の国際大会が5月23日～26日大阪ドームを主会場に開催される。日本での国際大会は過去1961年、1978年の2回東京で開催され、実に26年振りで、関西では初めて、海外から15,000人、国内から25,000人、計40,000人の参加者を予定して準備を進めている、成功のために協力を願うとの依頼がありました。

また、RI百周年に当たっては各クラブとしての事業立案もあり、近く要綱を送付するので宜しくとのことでした。

さて、本日は、第12回目の教員海外派遣事業で、過日無事帰国されました石田、川波両先生がお越し下さいました。ご承知のとおり、当クラブの25周年記念事業として渡辺剛康会長の時スタートした事業で、国際化が進むなか、海外での体験を子

供達の教育に役立てて欲しいとの願いを込めたこの事業が、期待どおり大きな成果を挙げていることを共に喜びたいと思います。両先生のお話を大変楽しみにしております。

新世代のためのロータリー・プログラムの一つであります青少年交換学生で8月25日にメキシコから来日しましたモンジョイ・パスケス・エドワルド君(愛称ラロ君)を紹介し、心から歓迎申し上げます。ラロ君は、これから一年間、県立御殿場南高校に在学され、その間ホストファミリーの芹澤君、菅沼君、山口君のお宅でお世話になります。本日午後学校へ挨拶に伺い、明日は職員・生徒の皆さんにご紹介頂くことになっています。

ラロ君が日本での生活を安心して満喫し、将来の国際親善に役立つ有意義な日々を送れますよう、皆様に温かいお力添えをお願い申し上げます。

なお、芹澤君のご子息 護君も8月25日無事メキシコ入りをされたとのことです。

勝間田豪亮さんと芹澤君には遠路送迎を無事果たして頂き、心から感謝と御礼を申し上げます。

次回9月12日の例会：1759回 12:30点鐘 東山荘(斎藤記念館)

夢見つつ広く播こう愛の真心



メキシコからの交換学生

MONYOY VAZQUEZ EDUARDO
モンジョイ バスケス エドアルド
愛称 LALO(ラロ君)17才



・メキシコ・チワワより8月25日来日、御殿場南高校に通学しながら1年間滞在します。
各月の第1例会や各種事業にも参加します。

ホストファミリー

8月～1月 芹澤 正明君
2月～4月 菅沼 久君
5月～7月 山口 幸男君

前回の出席報告

会員数	計算に用いる 会員数	出席数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
61名	58名	43名	74.14%	100%

欠席者(15名)

藤田 昇司君・岩田 英治君・神谷 高義君
勝又 重春君・勝又 敏樹君・根上 眞一君
根上 陽一君・岡本 隆典君・齋藤 保君
渋谷 一君・菅沼 久君・鈴木 崇司君
内海 隆治君・渡辺 巖君・山崎 恭男君

メーキャップ(14名)

齋藤 衛君 8月9日 裾 野
村上不二哉君 8月14日 ローターアクト
橋本 喜市君 8月18日 富士山-斉清掃
林 準君 8月18日 富士山-斉清掃
勝又 誠君 8月18日 富士山-斉清掃
大庭健一郎君 8月18日 富士山-斉清掃
岡本 隆典君 8月18日 富士山-斉清掃
齋藤 保君 8月18日 富士山-斉清掃
菅沼 久君 8月18日 富士山-斉清掃
高村 繁男君 8月18日 富士山-斉清掃
戸栗 太平君 8月18日 富士山-斉清掃
渡辺 巖君 8月18日 富士山-斉清掃
井口 修一君 8月21日 長 泉
嶋田泉太郎君 8月23日 裾 野

欠席される方は前日までにご連絡下さい

☺8月29日のスマイル☺

石田、川波両先生の無事の帰国を喜び、また、交換学生ラロ君の来訪を心から歓迎します。内海宣彦君、滝口喜徳君

先日の御殿場地区体育祭では多くのメンバーにお世話になり厚く御礼申し上げます。内海宣彦君

2ヶ月間ご無沙汰いたしました。富士山頂も8月28日をもって終了しました。色々なテレビ番組に出演させていただき良いPRができました。来年は皆様の登頂をお待ちしています。高村繁男君

この25日、息子のマモルがメキシコに出発しました。同じ日にメキシコからラロ君が来日されました。芹澤正明君

第2620地区

御殿場ロータリークラブ

例会日/木曜日

例会場・事務局/YMCA東山荘

静岡県御殿場市東山1052

電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138

<http://www.gotemba-rc.gr.jp/>

会 長/内海 宣彦

幹 事/滝口 喜徳

会報委員長/渡邊 俊彦





アムステルダム大学社会研修講座に参加して

御殿場市立印野小学校 石田 裕見

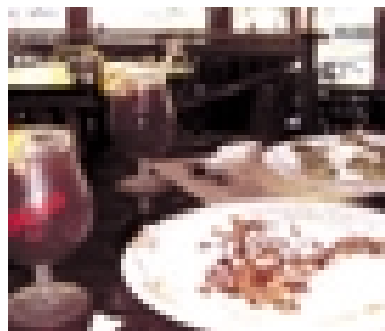
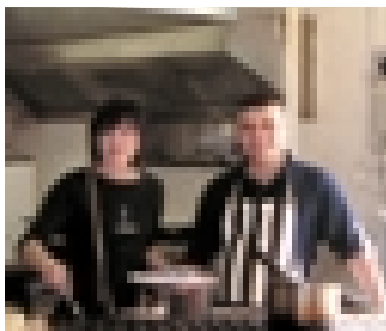
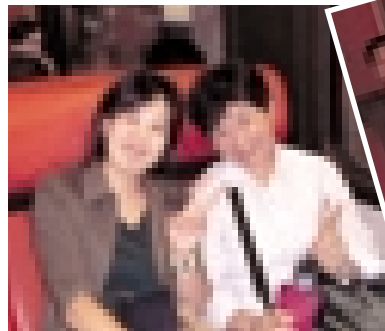


約2週間に及ぶアムステルダム大学での研修は、英語演習、講義、教室外活動のどれをとっても、とても充実したものでした。私は、「基礎英語」という内容からこのコースを選択しましたが、英語だけでなく、オランダの歴史や文化、教育、そしてEUの今までやこれからについても学ぶことができ、とても視野が広がったように思います。

全国からこの研修に参加された先生方からも多くの刺激を受け、授業終了後の自由時間にも積極的にいろいろなところを見て回りました。地図と電子辞書を片手に、道に迷っては通りすがりの人に話しかけ、目的地では疑問に思ったことを質問し……。私の英語力では思ったことを上手く表現することは不可能でしたが、それでも何とか話したいという思いと、それを汲んで理解しようとしてくれる優しい人たちのおかげで、本当に楽しい毎日でした。オランダに住む人たちから見ると、（駅で話したオーストラリア人も言っていたので、“外国人から見ると” かもしれません）日本はきれいな国で、日本人は礼儀正しいというイメージがあるのだそうです。そういう良いイメージを持ち続けてもらえるような国であり、自分でありたいと、強く思いました。

さらに、豊かな文化を持つオランダの世界的な名画や音楽に直接触れられたことは、言葉では到底表現のできない、感動的な体験となりました。

観光ではなく、研修として行かせていただいたおかげで、普段では見ることでできないところを見ることができ、一人では知ることのできないことを知ることができました。このような貴重な機会とすばらしい体験を与えてくださったロータリークラブの皆様に、心から感謝いたします。





7月28日、アメリカに向けて出発しました。成田空港で初めて14名のメンバーと顔を合わせ、期待と不安を胸に飛び立った瞬間です。この14人が25日後にはかけがえのない仲間となっていくことも知らなかったその頃からまだ1ヶ月しか経っていませんが、とても懐かしく思い出されます。

大学は広くて、自分が今どこを歩いているのか全く分からず、誘導されながら教室に向かいました。するとこのプログラムのスタッフが全員集まっていました。私たち英語研修の講師はアリー。彼女はこのプログラムを作った人で、16年間ずっと携わってきたベテランです。毎日午前中は彼女の講義でした。アリーの英語はゆっくりではなくナチュラルなスピードのため、聞き取るのに苦労しました。いつも目の前の席に座り、ずっと顔を見て話を聞く。なぜなら目を離すとなかなか英語が入ってこないのです。なのでこの3時間は楽しいものでもあり、また緊張の連続でもありました。午前中の授業では、中学校の授業で使える英語のゲーム、また歌や映画を使った教授法を学習したり、自分たちの英語能力向上のための発音練習やイディオムの習得、リスニングの特訓等も行いました。その集大成としてこの授業には最終プロジェクトが計画されていました。それはアメリカの現地の中学校で日本の文化について教えるというもので、自分で培った英語力を使う最大場として位置づけられていました。それに向けても日々の調査や研究も同時進行でした。

最終プロジェクトとして進めてきた日本の文化の紹介を最後の学校で行ったのですが、話を聞く姿勢、そして授業に意欲的に取り組む姿勢に感動しました。私は日本の伝統的なおもちゃをテーマに授業をしました。けんだまやこま、おはじき、メンコなど、たくさんのおもちゃを紹介し、最後に全員で鶴を折り紙で折りました。千羽鶴に込める日本人の思いなども話しながら進めると、本当に真剣に折り始め、見事完成することができました。今回、日本の伝統的なおもちゃについてだけでは、日本に帰って日本の生徒たちに伝えるものがないので、アメリカの伝統的な遊びについても比較しながら調べることもでき、似たようなものを使っている遊びなどもこれから生徒たちに伝えることができれば、と考えています。

私たちの研修は授業だけでなくそれ以外の場面でも多くの学ぶ場が設定されていました。まずは、ノーマン湖でのパーティー。湖の湖畔に住んでいる人の家でのパーティーには近所のアメリカ人や知り合い、そして日本から移り住んでいる人など総勢30人くらい集まりました。みんな自分たちで作った料理を持ち寄り、初めて知り合った人ともどんどんとけ込んで会話をすることができました。湖で泳いだり、生伴奏に合わせて歌ったり、話をしたり、とにかく充実したひとときでした。また、週末には郊外にある、ホームスクールをしている家へと遊びに行きました。その子どもたちは学校には通わず、親が責任をもって教育をしていました。その子どもたちが考えたゲームをしたり、乗馬をしたり、ここでも地元の人たちと直接話をする機会を持つことができました。この会話が何よりの私の勉強になりました。アメリカの人たちは、いろいろなことに対し自分の意見を持っていました。自分の国については特に興味が高く、子どもでさえ生き生きと意見を語ってくれました。私自身も他の国の文化について知るためには、まずは自分の国について深く知り意見を持つことが大切だと感じました。

もう一つ、とても心に残ったのが初めてのホームステイです。2泊3日という短い期間ではありましたが、アメリカの家庭と温かさを味わうことができました。まさにボランティアで受け入れてくれ、3日間目一杯楽しめるように企画をしてくれた家族を忘れることはできません。別れの時には涙をこらえるのに必死でした。

このようにあっという間に大学での3週間は過ぎ、いよいよニューヨークでの旅行の時となりました。自由の女神、グランドゼロ、セントラルパークを訪ねたり、ブロードウェイでミュージカルを鑑賞し、メジャーリーグの試合を観戦するなど、2日間という短い期間でしたがフルに動き回ることができました。そこで感じたことを全てこれからの授業の中で生徒たちに伝え、アメリカという国への興味関心を高めることができれば、と思います。

この旅で感じたこと。それは、旅は自分を発見することができるということ。全く知ることのなかった仲間と過ごすことで、今までの自分以外の自分も発見することができました。旅の中では、今まで以上に大胆になったり、楽天的になったり、積極的になることができ、そんな自分が好きだと感じることもできました。また、それができたのは仲間恵まれたおかげだとも思いました。同じ寮の部屋のメンバーは、何でも話ができて、時間や空間以外のもっと素敵なものを共有できたような気がします。夜遅くまで語り合ったことはいつまでも忘れないことでしょう。なんだか、久しぶりに学生に戻ったような気分でした。本当にいつも笑顔でした。本当の健康って、栄養をたっぷりとることでも、十分な睡眠時間を取ることもなく、自分自身を好きになり、笑顔で暮らすことなのかもしれない。そしてその笑顔を与えてくれるのは、まわりの人なんだ、かけがえのない人なんだ、と思いました。だからこれからも周りの人を大切に、自分と周りの人の心身の健康のため努力していきたいと思いました。また、アメリカの人の温かさをまねたいということも強く感じました。南部には「サザンホスピタリティ」という言葉があります。だれにでもボランティア精神と優しさをもって接するということを指していますが、本当にスタッフ全員（研修中に会った全てのアメリカ人）あたたかかったです。

ひと夏だけの生活は終わりました。でも私はずっと忘れません。このかけがえのない25日間を。そして素敵な仲間を。このような機会を与えてくださった皆様に本当に感謝しています。そして、ここで得たことをこれからの人生、そして教師としての自分に生かし、生徒にも伝えていけたら、と考えています。本当にありがとうございました。